

第2次地域福祉活動計画

事業評価報告書

(令和4年度分)

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会

第2次地域福祉活動計画 内部評価報告書（令和4年度分）

【目 的】

本会では、地域福祉活動計画を実行性のあるものとして推進するとともに、限られた財源を有効に活用していくため、毎年、事業ごとに定めた数値目標や方策について評価を行います。また、併せて実施計画の進捗管理を行います。

【方 法】

評価項目に基づいて評価を行います。また、新規事業や廃止事業がある場合は、実施計画にその事業を追加又は削除し、進捗管理を行います。

なお、評価結果は評価委員会を開催し、委員に意見・提案等をいただきます。

【評価項目】

事業名	第2次地域福祉活動計画「実施計画」に掲げている事業を記載
年次計画	令和4年度に実施すべき事業の数値目標・方策を記載
評価	年次計画に対して、事業の進捗状況を踏まえ、客観的にA～Cの3段階で評価する。 《評価基準》 A … 十分な成果を得た B … ある程度の成果を得たが、改善・検討が必要 C … 事業の中止
成果・課題	令和4年度に実施した事業の成果・課題等を記載
方向性	事業の進捗状況を踏まえ、方向性を「拡大」「継続」「縮小」「廃止」で記載

【評価結果】

基本目標	重点目標	頁
1 地域で活躍できる人づくり	①ボランティアの育成と活動の活性化	2
	②生涯に渡り地域で活躍できる社会参加の支援	4
2 手と手をつなぐ地域づくり	①「ささえあい・たすけあい」で繋がる地域福祉の推進	6
	②共助力の醸成と福祉課題の解決	9
3 安心して暮らせる環境づくり	①在宅生活を支える生活支援サービスの提供	13
	②各種相談事業の充実	19
4 地域福祉活動を支える体制づくり	①福祉に関する広報啓発活動の推進	25
	②会員制度の普及と会員加入の促進	26

【進捗管理】

1. 中止した事業

(理由) 市内業者撤退のため

事業名	年次計画	頁
高梁市寝具洗濯乾燥消毒事業	延利用人数	15

2. 年次計画が完了した事業

事業名	年次計画	完了年度	頁
災害見舞金支給事業	事業の見直し	令和1年度	32
共同募金（歳末たすけあい支援事業）	事業の見直し	令和3年度	32
地区社会福祉協議会の活動支援	お助け隊の設置	令和2年度	33
企画広報事業	情報発信の充実強化	令和3年度	38

3. 新規事業

事業名	年次計画	実施年度	頁
在宅介護支援センター事業	地域支援事業の実施	令和3年度	35
高梁市権利擁護センター事業	利用実人数	令和3年度	37
	市民後見人登録者数		37
法人後見事業	受任件数	令和3年度	37

4. 廃止した事業

(理由) 市内業者撤退により事業の継続が困難になったため

事業名	年次計画	廃止年度	頁
高梁市寝具洗濯乾燥消毒事業	延利用人数	令和4年度	34

【基本目標1】地域で活躍できる人づくり

重点目標① ボランティアの育成と活動の活性化

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
ボランティアセンター事業	①個人登録者数 R4 28人 ②団体登録者数 R4 100団体 ③研修会・養成講座等の開催	B B B	《実績①》 R4 17人 《実績②》 R4 91団体 《成果①②》 ボランティア活動に関心のある個人や市内を拠点として活動する団体に対して、ボランティアセンターへの登録を促した。 《課題①②》 ボランティアセンターの機能や仕組みを周知し、市民が利用しやすい環境を整備する必要がある。 《成果③》 外部講師を招き研修会を開催し、ボランティア活動の活性化に努めた。 ・R4 145名 《課題③》 ボランティア不足が予想される。若い方の協力が得られるよう研修会等の在り方について検討する必要がある。	継続
児童・生徒のボランティア活動普及事業	協力校の指定	B	《成果》 ボランティア協力校の指定期間を3年から1年に短縮するとともに、協力校は5校から10校（巨瀬・中井・宇治・松原・落合・福地・成羽小学校、高梁東・川上中学校、宇治高等学校）を増やし、多くの学校で福祉教育を推進するという前年度の課題を改善することが出来た。 《課題》 学年・年齢に応じた福祉教育の内容を検討する必要がある。	継続

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
夏のボランティア体験事業	夏のボランティア体験事業の開催	B	<p>《成果》</p> <p>SDGS 目標 11「住み続けられるまちづくりを」について理解を深めるため、災害時における「避難所」に焦点を当て、ワークショップを通じて「自分たちにできること」について学ぶ機会を提供した。なお、活動はコロナ禍に配慮し、各中学校の最寄りの施設を活用した。</p> <p>《課題》</p> <p>施設でのボランティア体験活動の再開に向け、施設等のボランティア受入状況を把握する必要がある。</p>	継続
福祉出前講座	実施回数 R4 34回	B	<p>《実績》</p> <p>R4 32回</p> <p>《成果》</p> <p>ボランティア団体と連携し、市内の小・中学校、高等学校や地域に出向き、福祉に関する講座を行った。</p> <p>《課題》</p> <p>引き続き、福祉教育推進のため、地域に出向いていく必要がある。</p>	継続
災害ボランティアセンター事業	<p>①災害ボランティアセンターの仕組み作り</p> <p>②災害ボランティアの登録・育成</p>	B B	<p>《成果①②》</p> <p>災害ボランティア養成講座、災害ボランティアセンター設置訓練を開催し、災害や災害ボランティア活動に関する知識の習得、意識の共有を図った。また、防災意識を高める機会として災害写真展を開催した。</p> <p>《課題①②》</p> <p>大規模災害に備え市・高梁青年会議所（協定締結先）との連携を強化するとともに、他団体との連携も模索する必要がある。また、登録ボランティアのモチベーションを維持・向上させる取り組みが必要である。</p>	継続

重点目標② 生涯に渡り地域で活躍できる社会参加の支援

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
高梁市シルバー人材センター事業（高梁市受託事業）	①会員数 R4 247人 ②延受注件数 R4 1,837件 ③延就労人数 R4 15,611件 ④講習会の開催	B B B B	《実績①》 R4 221人 《実績②》 R4 1,523件 《実績③》 R4 12,757件 《成果①②③》 高齢者の豊かな知識・経験・技術を活用した就業機会の提供及び生きがいと社会参加を促進させた。また、広報を強化し、会員確保に努め、適切なサービスを提供した。 《課題①②③》 会員の高齢化や企業の雇用期間の延長に加え人口減少により、会員数、延受注件数等減少傾向にある。 《成果④》 技能講習会を開催した。 ・7月 仕事に必要なコミュニケーション講習 ・9月 介護送迎運転者講習 ・11月 樹木剪定講習 ・1月 刈払機取扱者安全衛生教育 《課題④》 引き続き、無事故を目指し、安全作業の徹底等を図る必要がある。	継続
老人クラブ活動支援	自主運営の支援	A	《成果》 高梁市老人クラブ連合会及び各地域老人クラブの活動の自主的な運営を支援した。 ・R4 会員数 3,349人 ・R4 単位クラブ数 60クラブ 《課題》 引き続き、自主的な運営が推進されるよう、支援を続ける必要がある。	継続

【基本目標2】手と手をつなぐ地域づくり

重点目標① 「ささえあい・たすけあい」で繋がる地域福祉の推進

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
ふれあい福祉講座	ふれあい福祉講座の開催	B	<p>《成果》</p> <p>「ささえあい・たすけあいによる福祉のまちづくり」を目指し、福祉委員等の研修の場として3年ぶりに開催した。また、ふれあいサロン団体等の活動の広報や活動でできた品物の販売機会とし、各団体の活動の活性化を図った。</p> <p>・R4 380人</p> <p>《課題》</p> <p>内容がマンネリ化しないよう、講座の在り方について検討する必要がある。</p>	継続
ふれあいサロン事業	<p>①設置数</p> <p>R4 145団体</p> <p>②リーダーの育成</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<p>《実績①》</p> <p>R4 103団体</p> <p>《成果①》</p> <p>地域住民が身近な集会所等でお互いを尊重し、安心していきいきと暮らせる地域づくりを行うふれあいサロンへ助成を行った。</p> <p>《課題①》</p> <p>人口減少やコロナ禍の影響で、活動を中止・自粛する団体がある。広報を強化し、活動を支援していく必要がある。</p> <p>《成果②》</p> <p>運営リーダーを育成するため、サロン代表者交流会を開催した。</p> <p>・R4 34名</p> <p>《課題②》</p> <p>より多くの方に参加してもらい、担い手の確保・育成に努める必要がある。</p>	継続

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
子育て支援事業	子育てサロンの支援	B	<p>《成果》</p> <p>子育て家庭の親子などが、多様な活動を通じて、子育てを楽しみながら仲間づくりや互いに支え合う仕組みづくりを行うサロンに対し助成を行った。</p> <p>・R4 1団体</p> <p>《課題》</p> <p>長年1団体だけの申請となっているため、事業の見直しが必要である。また、本会では子育て世代に対する支援が少ないため、新たな事業の開発が必要である。</p>	拡大
敬老事業 (高梁市受託事業)	敬老会開催の支援	B	<p>《成果》</p> <p>前年度の課題であったコロナ禍での活動を支援するため、敬老会を開催した団体に加え、友愛訪問を行った団体に対しても助成を行うようにした。</p> <p>・R4 敬老会 35団体 ・R4 友愛訪問 14団体</p> <p>《課題》</p> <p>敬老事業の意義を周知するなど、活動等を支援する必要がある。</p>	継続
敬老祝い品贈呈事業	記念品の贈呈	A	<p>《成果》</p> <p>88歳(米寿)を迎えられた人に、敬老の日を中心に記念品を贈呈した。</p> <p>・R4 240人</p> <p>《課題》</p> <p>市内協力業者が1業者だけであるため、記念品目を増やすなど、事業内容を検討する必要がある。</p>	継続

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
災害等見舞金支給事業	見舞金の支給	B	<p>《成果》</p> <p>自然災害又は火災により、現に居住している住宅等の建物及び人的被害を受けた世帯に対し、見舞金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4 災害見舞金支給件数 0件 ・R4 火災見舞金支給件数 2件 ・R4 死亡弔慰金支給件数 0件 <p>《課題》</p> <p>引き続き、円滑な被害状況の把握及び見舞金の支給を行っていく必要がある。</p>	継続
共同募金（一般募金助成事業）	公募方式による活動費の助成	B	<p>《成果》</p> <p>地域で活動する福祉・ボランティア団体等へ運営費・活動費を公募方式により43団体へ助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4 一般団体 35団体 ・R4 歳末団体 8団体 <p>《課題》</p> <p>原資である共同募金を住民活動に広く還元できるよう、周知する必要がある。</p>	継続

重点目標② 共助力の醸成と福祉課題の解決

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
福祉委員活動支援	①福祉委員の選出 ②活動支援 ③福祉委員連絡協議会の開催 (年2回)	B B B	《成果①②》 概ね全町内会から福祉委員を選出することが出来た。 ・R4 福祉委員数 694人 《課題①②》 人口減少により福祉委員の選出が難しくなっている町内会がある。地域での見守り活動を継続していくため、選出が難しくなった町内会の選出方法について、各地区社会福祉協議会と協議する必要がある。 《成果③》 各地区の事業実施状況について、意見交換を行った。また、総社市福祉委員協議会と合同で研修会を開催し、活動の活性化に努めた。 《課題③》 小地域での見守り活動の重要性が増している。市内全域で福祉員活動の活性化を図っていくため、引き続き、協議会を開催し情報を共有する必要がある。	継続
地区社会福祉協議会の活動支援	①地区社会福祉協議会会長並びに役員連絡会議の開催	B	《成果①》 市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会の会議の場を設け、情報交換を行うとともに、各地区の事業実施状況について意見交換を行った。 《課題①》 地域福祉を支えるマンパワー不足が各地区共通の大きな課題となっている。市内全域で小地域福祉活動の活性化を図っていくため、引き続き、会長会を開催し情報を共有する必要がある。	継続

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
地区社会福祉協議会の活動支援	②ご近所見守りネット事業の推進	B	<p>《成果②》</p> <p>民生委員児童委員と福祉委員が連携し、各地区の実情に合った見守り活動を推進することが出来た。</p> <p>《課題②》</p> <p>災害時等、民生委員児童委員と福祉委員が連携する機会が増えているため、引き続き、ご近所見守りネット事業を推進する必要がある。</p>	継続
	③お助け隊派遣事業の推進	B	<p>《成果③》</p> <p>地区社会福祉協議会が取り組むお助け隊の活動を支援した。</p> <p>《課題③》</p> <p>各地区のニーズに合ったサービス体制の構築が求められている。</p>	
生活支援体制整備事業（高梁市受託事業）	①地区の実情に合ったサービス提供の整備	B	<p>《成果①》</p> <p>第2層生活支援コーディネーターを専任配置（14地区4人）し、資源開発やネットワーク構築等の活動を通じて、各地区の実情に合ったサービス提供の整備を行った。</p> <p>《課題①》</p> <p>第2層協議体の活動を明確にするため、コーディネーターは、各地区のニーズを把握し、実情に合った活動ができるよう情報提供することや事業の必要性についての説明などの対応が求められている。</p>	継続
	②全地区社会福祉協議会を対象とした小地域福祉活動計画の策定推進	B	<p>《成果②》</p> <p>巨瀬地区社会福祉協議会が「豊かなまちプラン」を策定した。</p> <p>《課題②》</p> <p>全地区で小地域福祉活動計画が策定できるよう地区社会福祉協議会活動を支援していく必要がある。</p>	

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
生活支援体制整備事業（高梁市受託事業）	③いきいき生活サポート事業の推進	B B	<p>《成果③》</p> <p>ボランティア養成講座を受講し、高梁市へ登録したサポーターによる生活支援サービスを提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4 利用実人数 3名 ・R4 利用延件数 65件 <p>《課題③》</p> <p>ちょこっとお助けサービス事業の廃止を想定して作られた事業だが、ちょこっとお助けサービス事業が廃止されていないため、類似した2つの受託事業を実施している状況にある。利用者の混乱を招かないよう、ちょこっとお助けサービス事業の廃止について、引き続き市と協議をしていく必要がある。</p>	継続
福祉座談会	福祉座談会の開催	B	<p>《成果》</p> <p>第3次地域福祉活動計画策定に向けて、地域住民の意見を把握するため、1月から2月にかけて開催した。</p> <p>《課題》</p> <p>地域が抱える福祉ニーズを把握し、解決していくため、引き続き、福祉座談会を開催する必要がある。</p>	継続

【基本目標3】安心して暮らせる環境づくり

重点目標① 在宅生活を支える生活支援サービスの提供

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
高梁市福祉移送サービス事業 (高梁市受託事業)	①延利用者数 R4 5,162人	B	《実績①》 R4 4,722人 《成果①》 高齢者や障害者等の外出及び社会参加促進のため、ドア・ツー・ドアによる移送サービスを提供した。 《課題①》 引き続き、事業周知に努め、適切なサービス提供をする必要がある。	継続
	②運転ボランティア数 R4 75人	B	《実績②》 R4 71人 《成果②》 サービス提供体制を維持するため、ボランティアの確保・育成に努めた。 《課題②》 企業の雇用の延長などにより運転ボランティアの確保が難しくなっている。また、運転に必要な講習会も限られているため、日頃から運転ボランティア募集の周知に努める必要がある。	
	③市内一体的な運行管理等の検討	B	《成果③》 多くの方がサービスを利用できるよう、透析移送では地域の枠を超えて運行するなど、効率的な運行管理を行った。 ・備中支所 成羽地域の利用者を送迎 《課題③》 運転ボランティアの確保が難しく、併せて、車両台数にも限りがあるため、引き続き、地域を超えた運行管理が求められている。	

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
高梁市福祉移送サービス事業 (高梁市受託事業)	④専門研修の開催	B	<p>《成果④》</p> <p>高梁警察署員を講師として招き、安全運転に関する講習会を開催し、安全運転への意識を高めた。</p> <p>《課題④》</p> <p>大小関わらず何らかの事故が毎年起きている。引き続き、無事故無違反を目指し、安全運転への意識を高める必要がある。また、利用者に対し適切なサービスが提供できるよう運転ボランティアの資質向上を目的とした研修会の開催が必要である。</p>	継続
高梁市給食サービス事業 (高梁市受託事業)	<p>①延配食数 R4 33,000食</p> <p>②年間利用実人数 R4 360人</p> <p>③配食ボランティア数 R4 570人</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>《実績①》 R4 24,651食</p> <p>《実績②》 R4 271人</p> <p>《実績③》 R4 558人</p> <p>《成果①②③》</p> <p>配食ボランティアの協力により、調理が困難な高齢者や障害者等へ食事を提供し、食生活の安定及び安否確認を行った。</p> <p>《課題①②③》</p> <p>引き続き、事業周知に努め、ボランティアを確保・育成するとともに、適切なサービス提供をする必要がある。</p>	継続

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
高梁市給食サービス事業 (高梁市受託事業)	④市内一体的なサービス提供の検討	B	《成果④》 サービス提供回数について、市と協議をしたが進展はない。 《課題④》 サービス提供回数の統一については、委託業者の理解、ボランティアの確保といった課題がある。従って、各地区の実態を把握し、実情に合ったサービス提供ができるよう努めていく必要がある。	継続
高梁市寝具洗濯乾燥消毒事業 (高梁市受託事業)	延利用人数 R4 381人	C	《実績》 R4 0人 《成果》 市内業者の撤退により、令和4年度から事業を中止した。 《課題》 なし	廃止
高梁市健やか高齢者生きがい支援事業(高梁市受託事業)	利用延人数 R4 5,100人	B	《実績》 R4 ミニデイ 1,711人 R4 川上 1,135人 R4 備中 206人 《成果》 地域の各拠点で介護予防、健康状態の確認や趣味活動のほか、保健指導を取り入れたサービスを提供した。 ・ミニデイサービス 高梁 各地域市民センター等 ・生きがいデイサービス 川上・備中 介護保険通所施設 《課題》 (ミニデイサービス) 人口減少によりボランティアが不足している。また、活動がマンネリ化しているため、各地域の取組み等を情報共有する場を設け、活動の活性化を図る必要がある。	継続

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
高梁市健やか高齢者生きがい支援事業（高梁市受託事業）			<p>《課題》</p> <p>（生きがいデイサービス）</p> <p>利用者が減少しているため、関係機関との連携、事業のPR等をする必要がある。また、コロナウイルス感染拡大防止のためボランティア、学校関係、地元団体の受入れにも制限があった。コロナウイルス感染症対策の継続、併せて受入方法を再考しなければならない。</p>	
ちょこっとお助けサービス事業（高梁市受託事業）	<p>①利用延人数 R4 290人</p> <p>②サービス提供体制の検討</p>	B	<p>《実績①》</p> <p>R4 206人</p> <p>《成果①》</p> <p>日常生活を営むために援助が必要な高齢者等に、屋内の掃除、家まわりの手入れなどのサービスを提供した。</p> <p>《課題①》</p> <p>利用の更新を必要としないため、利用条件に該当しない方がサービスを利用しているおそれがある。</p> <p>《成果②》</p> <p>地域包括支援センターのいきいき生活サポート事業の開始に伴い、ちょこっとお助けサービス事業は廃止する予定であったが廃止されなかったため、廃止に向けて市と協議を行ったが進展はない。</p> <p>《課題②》</p> <p>利用者の混乱を招かないためにも、引き続き、ちょこっとお助けサービス事業の廃止に向けた協議を市と行っていく必要がある。</p>	廃止

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
介護予防・日常生活支援総合事業（高梁市受託事業）	①総合事業ケアマネジメント	B	<p>《成果①》</p> <p>介護予防と自立した日常生活が送れることを目的に、その方や地域の状況にあった住民主体の支援などを取り入れ、適切なサービスが提供されるようプランを作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4 利用実人数 9人 ・R4 延利用人数 53人 <p>《課題①》</p> <p>訪問型、通所型のサービスだけでなく、福祉用具貸与やリハビリ等のサービスを希望される方が多く、実績を増やすのは難しい状況。今後も利用者の意向に沿い、住民主体の支援も取り入れ援助していく。</p>	継続
	②総合事業ミニホームヘルプサービスの実施	C	<p>《成果②》</p> <p>生活支援のみを行うサービスだが、依頼がなく利用者はいなかった。令和3年、4年度と実績は無い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4 利用実人数 0人 ・R4 延時間数 0時間 <p>《課題②》</p> <p>なし</p>	
	③総合事業ミニデイサービスの実施	B	<p>《成果③》</p> <p>高梁地域で実施するミニデイサービスで、介護予防・自立支援のためのサービスを提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4 利用実人数 21人 ・R4 利用延人数 116人 <p>《課題③》</p> <p>ミニデイサービスと同じ</p>	

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
在宅介護支援センター事業	地域支援事業の実施	B	<p>《成果》</p> <p>ひとり暮らしや高齢者世帯を訪問し、実態把握や情報提供を行い相談できる体制づくりと自立した生活が送れるよう支援した。2年目となり、地域との関係性も出来てきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4 総合相談実人数 52人 ・R4 総合相談延人数 122人 ・R4 実態把握実人数 41人 ・R4 実態把握延人数 59人 <p>《課題》</p> <p>福祉課題の早期発見・早期対応を行うため、地域の実態を把握していく必要がある。</p>	継続

重点目標② 各種相談事業の充実

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
ふれあい相談事業	事業実施	－	※令和3年度からそれぞれの相談内容に応じて、生活あんしんサポートセンター・権利擁護センター等にて実績を計上している。	継続
福祉資金貸付事業	円滑な事業実施	B	<p>《成果》</p> <p>民生委員児童委員や関係機関と連携し、生活困窮者に対し、必要な資金の貸付（無利息）を行い、自立更生の支援を行った。特に無利息・保証人不要の緊急対応が増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R4 新規貸付件数 15 件 ・ R4 償還済件数 10 件 ・ R4 貸付中件数 13 件 <p>《課題》</p> <p>計画的に償還できていない方に対して、関係機関と連携して償還支援を行う必要がある。</p>	継続

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
生活福祉資金貸付事業（岡山県社会福祉協議会受託事業）	円滑な事業実施	B	<p>《成果》</p> <p>民生委員児童委員と連携し、生活困窮者に対し、必要な資金の貸付を行い、自立更生の支援を行う事業だが、本年度に新たな貸付はなかった。また、新型コロナウイルス感染症の影響による減収に対しての特例貸付を行った。</p> <p>(生活福祉資金貸付事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R4 新規貸付件数 0 件 ・ R4 償還済件数 0 件 ・ R4 償還免除件数 0 件 ・ R4 貸付中件数 3 件 <p>(特例貸付) R2.3.25～R4.9.30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総数貸付件数 741 件 ・ R4 新規貸付件数 12 件 (総額 4,200 万円) ・ R4 償還済件数 5 件 ・ R4 償還免除件数 134 件 ・ R4 償還猶予件数 20 件 <p>《課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症特例貸付の償還に向けた支援と償還免除の方に対しての相談受付等を関係機関と連携して行う必要がある。</p>	継続

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
日常生活自立支援事業（岡山県社会福祉協議会受託事業）	利用実人数 R4 17人	B	<p>《実績》 R4 8人</p> <p>《成果》 認知症、知的・精神障がい等により、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用手続きが困難な方に、預貯金の出し入れや福祉サービスに関する情報提供や利用手続きなどの援助を行った。</p> <p>《課題》 新規利用者につながることはなく、目標人数を達成することは出来なかった。地域や関係機関と連携しながら制度を必要としている方に適切に結びつける必要がある。また、生活支援員・専門員は研修会等に積極的に参加し実践力の強化を図る必要がある。</p>	継続
高梁市生活あんしんサポートセンター事業（高梁市受託事業）	①自立相談支援事業の推進	B	<p>《成果①》 相談者が抱える課題を把握し、自立に向けた計画を立て、他機関とも連携して継続的な支援を行った。 (新規相談件数) ・R4 13件 (支援プラン策定件数) ・R4 10件</p> <p>《課題①》 新型コロナウイルス感染症の影響による相談者及び償還免除・償還猶予になった相談者の生活再建に向け関係機関と連携して支援を行う必要がある。</p>	継続

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
高梁市生活あんしんサポートセンター事業（高梁市受託事業）	②家計改善支援事業の推進	B	<p>《成果②》</p> <p>相談者と共に家計の状況を把握し、生活再建に向けた計画を立て、情報提供や助言・指導等により、相談者が自ら家計を管理できるように支援した。</p> <p>(新規相談件数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4 12件 <p>(支援プラン策定件数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4 7件 <p>《課題②》</p> <p>相談者が自ら家計の管理ができる支援に加え、ライフプランを立てて将来を見据えた支援を行う必要がある。</p>	継続
高梁市権利擁護センター事業（高梁市受託事業）	①新規相談件数 R4 85件	B	<p>《実績①》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4 新規相談件数 83件 ・R4 相談件数（新規・継続含む） 345件 <p>《成果①》</p> <p>認知症、知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、成年後見制度をはじめとした権利擁護支援を適切に結びつけるとともに、必要な支援を行った。また、あらゆる広報媒体の活用や出前講座等を実施し、権利擁護や成年後見制度について啓発を図り、利用者の増加につながった。</p> <p>《課題①》</p> <p>潜在するニーズの早期発見や地域の環境整備を図るため、福祉・行政・法律専門職など多様な主体の連携によるネットワークの強化を図る。</p>	継続

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
高梁市権利擁護センター事業 (高梁市受託事業)	②市民後見人登録者数 R4 15人	A	《実績②》 ・R4 15人 《成果②》 新規市民後見人2名養成した。 目標の登録者数15人を達成することができた。 《課題②》 引き続き新規市民後見人を養成しながら、専門性向上のための研修等を企画する。また後見の担い手不足解消のため、法人後見支援員として活用できるようにしていく。	継続
法人後見事業	受任件数 R4 3件	A	《実績》 ・R4 5件 《成果》 目標の受任件数3件を達成することができた。権利擁護センターと連携し、後見業務を行った。 《課題》 家庭裁判所、権利擁護センターと連携を図りながら、法人後見専門員の専門性を向上できるようにする。また、後見人等の担い手が不足していることから、後見支援員の協力を得ながら、受任件数増加に努めていく。	継続

【基本目標4】地域福祉活動を支える体制づくり

重点目標① 福祉に関する広報啓発活動の推進

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
企画広報事業	①広報紙の発行	B	《成果①》 広報紙を年6回奇数月に発行した。 ・R4 4回12ページ 2回 8ページ編成 《課題①》 事業報告・周知にとどまらず視点を変えた掲載を加えていく必要がある。	継続
	②情報発信の充実強化	B	《成果②》 ホームページの全面リニューアルを行った。また、ソーシャルメディア（Facebook、Twitter）を活用し、情報発信を行った。 ・Facebook フォロワー数 33人 ・Twitter フォロワー数 46人 《課題②》 ソーシャルメディアを積極的に活用し、より多くの方に本会の活動を情報発信していく必要がある。	
福祉功労表彰	表彰	B	《成果》 地域福祉の向上に顕著な成績があった個人団体に対し表彰を行った。 ・R4 個人1名 団体3団体 《課題》 意識の向上のため、より多くの人々を顕彰していくことが必要。	継続

重点目標② 会員制度の普及と会員加入の促進

事業名	年次計画	評価	成果・課題	方向性
賛助会員制度	①普通会員数 R4 6,775 人 ②法人会員数 R4 290 件	B	①普通会員数 R4 6,393 人 ②法人会員数 R4 292 件 《成果①②》 福祉委員連絡会等で相互扶助（ささえあい・たすけあい）の意識の高揚を図るとともに、本会が行う事業周知を行った。 《課題①②》 町内会単位の納入が増えているため、個人から賛同をいただき納付していただくものであることを周知していく。また、人口減少により普通会員数が減ってきているが、未加入町内会へアプローチを行っていき理解をいただくよう努める。	継続

実 施 計 画

(1) 基本目標 1 地域で活躍できる人づくり

事業名及び事業概要	年次計画 (数値目標・方策)					主な財源
	R1	R2	R3	R4	R5	
重点目標① ボランティアの育成と活動の活性化						
【ボランティアセンター事業】 ボランティアに関する情報を発信し、ボランティアの登録を促進します。また、保険料や活動費の助成を行うとともに、ボランティアの育成を図るため、養成講座や研修会を開催します。	■個人登録者数					寄付金
	22	24	26	28	30	
	21	24	24	17		
	■団体登録数					
	100	100	100	100	100	
	100	95	101	91		
	■研修会・養成講座等の開催					
	実施	中止	実施	実施		
先進的な事例の発表や専門的な研修会、ボランティア同士の交流会を開催し、ボランティアやボランティアリーダーの育成に努めます。						
【児童・生徒のボランティア活動普及事業】 社会福祉についての理解と関心を高めるため、市内の小・中・高校をボランティア協力校に指定します。	■協力校の指定					賛助会員会費
	実施	実施	実施	実施		
	市内の小・中・高校、教育委員会と連携を図り、福祉教育を推進する協力校の取り組みを支援をします。					
【夏のボランティア体験事業】 生徒・学生の夏休みを利用し、社会福祉について理解を深めるとともにボランティア活動に積極的に参加できる場を提供します。	■事業実施					寄付金
	実施	中止	実施	実施		
	生徒・学生が、ボランティア活動に積極的に取り組めるよう、学校や教育委員会、各関係機関との連携強化に努め、福祉教育を推進します。					
【福祉出前講座】 福祉の心を育てるため、ボランティア団体等と連携を図り、市内の小・中・高校や各地域に向き、福祉に関する講座を行います。	■実施回数					寄付金
	28	30	32	34	36	
	28	23	12	32		
ボランティア団体や関係機関と連携を図り、福祉出前講座を実施することにより、福祉に関する意識の醸成を図ります。						

事業名及び事業概要	年次計画（数値目標・方策）					主な財源
	R1	R2	R3	R4	R5	
【災害ボランティアセンター事業】 大規模な地震や水害等災害時にボランティアによる復興支援を行います。	■災害ボランティアセンターの仕組み作り					寄付金
	検討	→				
	検討	検討	検討	検討		
	災害ボランティアセンター設置マニュアルを作成した。引き続き、仕組みづくりを検討していく。					
	■災害ボランティアの登録・育成					
	→					
	実施	実施	実施	実施		
災害時に備え、災害ボランティアセンターの位置づけを明確にし、災害ボランティアの登録・育成を行います。						
重点目標② 生涯にわたり地域で活躍できる社会参加の支援						
【高梁市シルバー人材センター事業】 高齢者の豊かな知識・経験・技術を活用した就業機会の提供及び生きがいと社会参加を促進します。	■会員数					市受託料
	257	252	247	247	247	
	246	239	228	221		
	■延受注件数					
	1,875	1,856	1,837	1,837	1,837	
	1,683	1,568	1,512	1,523		
	■延就労人数					
	15,937	15,774	15,611	15,611	15,611	
	13,966	13,626	13,369	12,757		
	広報を強化し、会員確保に努め、適切なサービスを提供します。					
	■講習会の開催					
→						
実施	中止	実施	実施			
会員の技術向上及び事故防止と安全適正就業を推進するため、安全講習や技術講習などの専門講習会を定期的に開催します。						
【老人クラブ活動支援】 高梁市老人クラブ連合会及び各地域老人クラブの活動について自主運営の支援を行います。	■自主運営の支援					—
	→					
	実施	実施	実施	実施		
老人クラブ会員による自主運営を支援します。						

(2) 基本目標2 手と手をつなぐ地域づくり

事業名及び事業概要	年次計画 (数値目標・方策)					主な財源										
	R1	R2	R3	R4	R5											
重点目標① 「ささえあい・たすけあい」で繋がる地域福祉の推進																
【ふれあい福祉講座】 「ささえあい・たすけあいによる福祉のまちづくり」を目指し、福祉委員等の研修の場として開催します。	■ふれあい福祉講座の開催					賛助会員 会費										
	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td> </tr> <tr> <td>実施</td><td>中止</td><td>中止</td><td>実施</td><td></td> </tr> </table>										→	実施	中止	中止	実施	
					→											
実施	中止	中止	実施													
先進的な事例の発表などにより、各地区における福祉委員活動や地区社会福祉協議会活動などの活性化を図ります。																
【ふれあいサロン事業】 地域住民が、身近な集会所等でお互いを尊重し、安心していきいきと暮らせる地域づくりを行うふれあいサロンに対し助成を行います。	■設置数					賛助会員 会費										
	130	135	140	145	150											
	130	111	105	103												
	地域住民の交流及び閉じこもりや引きこもりを防止するため、ふれあいサロンの開設を促進します。															
	■リーダー育成															
<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td> </tr> <tr> <td>実施</td><td>中止</td><td>実施</td><td>実施</td><td></td> </tr> </table>									→	実施	中止	実施	実施			
				→												
実施	中止	実施	実施													
事業の充実を図るため、意見交換会を開催し、運営リーダーを育成します。																
【子育て支援事業】 子育て家庭の親子などが、多様な活動を通じて、子育てを楽しみながら仲間づくりや互いに支え合う仕組みづくりを行うサロンに対し助成を行います。	■事業実施					賛助会員 会費										
	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td> </tr> <tr> <td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td><td></td> </tr> </table>										→	実施	実施	実施	実施	
					→											
実施	実施	実施	実施													
少子化や核家族化による子育て家庭などの育児不安の解消を図る子育てサロンを支援します。																
【敬老事業】 長寿を祝い実施する敬老会に対し助成を行います。	■事業実施					賛助会員 会費 市受託料										
	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td> </tr> <tr> <td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td><td></td> </tr> </table>										→	実施	実施	実施	実施	
					→											
実施	実施	実施	実施													
地域の繋がりや高齢者福祉の推進を図るため、敬老会の開催を支援し、敬老意識の高揚に努めます。																
【敬老祝い品贈呈事業】 88歳を迎えられた方に、敬老の日を中心に記念品の贈呈を行います。	■事業実施					賛助会員 会費										
	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td> </tr> <tr> <td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td><td></td> </tr> </table>										→	実施	実施	実施	実施	
					→											
実施	実施	実施	実施													
高齢者福祉増進のため、福祉委員の協力を得て事業を推進します。																

事業名及び事業概要	年次計画（数値目標・方策）					主な財源
	R1	R2	R3	R4	R5	
【災害等見舞金支給事業】 自然災害や火災により被害を受けた世帯に対し、見舞金を支給します。	■事業実施					賛助会員 会費
					→	
	実施	実施	実施	実施		
	迅速に見舞金を支給します。					
	■事業の見直し					
	見直し					
	完了	—	—	—	—	
令和元年度に他制度との整合を図るため事業の見直しを完了した。						
【共同募金（一般募金助成事業）】 地域で活動する福祉・ボランティア団体等へ運営費・活動費の助成を行います。	■事業実施					配分金
					→	
	実施	実施	実施	実施		
	地域で活動する多くの団体へ助成を行うため、公募方式により助成を行います。					
【共同募金（歳末たすけあい支援事業）】 新たな年を迎える時期に、寝たきり等への慰問金支給のほか、福祉・ボランティア団体等へ活動費の助成を行います。	■事業の見直し					配分金
	見直し	見直し				
	検討	検討	統合	—		
	令和3年度に一般募金助成事業へ統合し、見直しを完了した。					
重点目標② 共助力の醸成と福祉課題の解決						
【福祉委員活動支援】 小地域での福祉活動の推進を図るため、各町内会へ福祉委員の設置を促進し、福祉委員活動の支援を行います。	■設置					賛助会員 会費
					→	
	実施	実施	実施	実施		
	全町内会に福祉委員を設置するため、未選出町内会に向き、福祉委員活動の説明を行います。					
	■活動支援					市補助金
					→	
	実施	実施	実施	実施		
	福祉委員連絡会総会等で福祉委員活動への理解を深めるとともに、福祉委員証を発行し、委員の意識高揚と役割の明確化を図り、小地域での福祉活動を推進します。また、活動中の事故等の補償のためボランティア活動保険への加入、町内会に対しての福祉委員活動費の支給を行います。					
	■福祉委員連絡協議会の開催（年2回）					市補助金
					→	
実施	実施	一部実施	実施			
福祉委員連絡会相互の連携により、総合的かつ効果的な地域福祉活動を行うことを目的に開催します。						

事業名及び事業概要	年次計画（数値目標・方策）					主な財源
	R1	R2	R3	R4	R5	
<p>【地区社会福祉協議会の活動支援】</p> <p>地域福祉推進の基盤組織として、地域の実状に合った福祉活動の推進を支援します。</p>	■地区社会福祉協議会会長並びに役員連絡会議の開催					市補助金
					→	
	実施	中止	実施	実施		
	市社協と地区社協の意見交換の場を設け、情報提供等を行い、地域福祉活動の活性化を図ります。					市補助金
	■ご近所見守りネット事業の推進					
					→	
	実施 実施 実施 実施					市補助金
	福祉委員を含む地区社協構成員が、定期的に集まり、地域の実状に合った見守り活動を推進します。					
	■お助け隊派遣事業の推進					
	全地区設置					市補助金
	設置完了		実施	実施		
	令和2年度にお助け隊の全地区への設置が完了した。引き続き、地域住民が相互に協力し、身近な困りごとの解決に向けた取り組みができるよう支援します。					
<p>【生活支援体制整備事業】</p> <p>地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備を推進します。</p>	■事業実施					市受託料
					→	
	実施	実施	実施	実施		
	市内14地区の地区社会福祉協議会へ設置した「第2層協議体」に生活支援コーディネータを配置し、資源開発、ネットワーク構築等を通じて各地区の実状に合ったサービス提供の整備を推進します。					市受託料
	■小地域福祉活動計画の策定推進					
					→	
	実施 実施 実施 実施					市受託料
	地区社会福祉協議会が実施する事業を計画的に推進するとともに地域住民に周知し、活動への参画を図るため、小地域福祉活動計画の策定を推進します。					
	■いきいき生活サポート事業の推進					
		-	-	-	→	市受託料
		-	-	-	実施	
	在宅生活支援・通いの場ボランティア養成講座を受講したボランティアによる生活支援活動を推進します。					
<p>【福祉座談会】</p> <p>地域福祉活動計画の推進を図るとともに、地域住民が地域の福祉課題を把握・共有し、問題解決に向けた取り組みを推進するために開催します。</p>	■事業実施					寄付金
					→	
	実施	中止	中止	実施		
	地区社会福祉協議会と連携し、福祉座談会を開催します。					

(3) 基本目標3 安心して暮らせる環境づくり

事業名及び事業概要	年次計画 (数値目標・方策)					主な財源
	R1	R2	R3	R4	R5	
重点目標① 在宅生活を支える生活支援サービスの提供						
【高梁市福祉移送サービス事業】 高齢者や障害者等の外出及び社会参加の促進を図るため、ドア・ツー・ドアによる移送サービスを提供します。	■延利用者数					市受託料
	5,058	5,058	5,162	5,162	5,162	
	3,944	3,895	4,350	4,722		
	■運転ボランティア数					
	75	75	75	75	75	
	66	68	66	71		
	運転ボランティアを確保育成し、適切なサービス提供を行います。					
	■市内一体的な運行管理等の検討					
	検討	検討	検討	検討		
	検討	検討	検討	検討		
	市内一体的なサービス提供体制の整備を検討し、より合理的な運行管理を行います。					
	■専門研修の開催					
					➔	
	実施	実施	実施	実施		
安全運転に関する研修等により運転技術の向上を図ります。						
【高梁市給食サービス事業】 調理が困難な高齢者や障害者等へ宅配による食事の提供を行い、食生活の安定を図ります。また、宅配時に安否確認を行います。	■延配食数					市受託料
	32,000	32,000	33,000	33,000	33,000	
	31,886	29,100	26,448	24,651		
	■年間利用実人数					
	350	350	360	360	360	
	345	330	295	271		
	■配食ボランティア数					
	560	560	570	570	570	
	587	628	566	558		
	民生委員児童委員等と連携し、適切なサービス提供を行います。					
	■市内一体的なサービス提供の検討					
検討	検討	検討	検討			
検討	検討	検討	検討			
給食サービスの未実施地域の解消や配食回数の統一等市内一体的なサービス提供を検討します。						
【高梁市寝具洗濯乾燥消毒事業】 寝具類の衛生管理が困難な高齢者等の世帯に対し、寝具の丸洗い、消毒乾燥を行います。	■利用実人数					市受託料
	367	374	381	388	395	
	320	183	183	廃止		
	関係機関と連携し、適切なサービス提供を行います。					

事業名及び事業概要	年次計画（数値目標・方策）					主な財源
	R1	R2	R3	R4	R5	
【高梁市健やか高齢者生きがい支援事業】 体の弱い高齢者や身体の不自由な方の健康の保持、介護予防、社会参加促進のため、通所によるサービスを提供します。	■利用延人数					市受託料
	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	
	4,834	2,950	2,902	3,052		
	関係機関と連携し、適切なサービス提供を行います。					
【ちょこっとお助けサービス事業】 日常生活を営むために援助が必要な高齢者等に屋内の掃除や家周りの手入れなどのサービスを提供します。	■利用延人数					市受託料
	270	290	290	290	290	
	284	279	262	206		
	関係機関と連携し、適切なサービス提供を行います。					
	■サービス提供体制の検討					
	検討	検討	検討	検討		
	検討	検討	検討	検討		
お助け隊派遣事業の動向によりサービス提供体制の在り方を市と協議します。						
【介護予防・日常生活支援総合事業】 要介護状態等となることの予防、要支援状態の軽減、悪化の防止及び地域における自立した生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態にあった事業やサービスを提供します。	■総合事業ケアマネジメント					市受託料
					→	
	実施	実施	実施	実施		
	心身の状況や置かれている環境等に合せて、適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要なプランを立てます。					市受託料
	■総合事業ミニホームヘルプサービスの実施					
					→	
	訪問介護員による生活支援のみのサービスを提供します。					市受託料
	■総合事業ミニデイサービスの実施					
					→	
	実施					市受託料
実施						
実施						
自立生活の促進、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上を図ることを目的に体操やレクリエーション等を行います。						
【在宅介護支援センター事業 総合相談支援事業・実態把握事業などを実施し、自立支援・重度化予防を行う。	■地域支援事業の実施					市受託料
	—	—			→	
	—	—	実施	実施		
	住み慣れた地域で、いつまでも自分らしい生活ができるよう高齢者やその家族の悩みや心配事の相談を聞き、適切に情報を提供します。					

事業名及び事業概要	年次計画（数値目標・方策）					主な財源
	R1	R2	R3	R4	R5	
重点目標② 各種相談事業の充実						
【ふれあい相談事業】 心配ごとの解消のため、ふれあい相談を実施し、助言等の支援を行います。	■事業実施					-
	→					
	実施	実施	-	-		
関係機関と連携し、適切な相談支援を行います。						
【福祉資金貸付事業】 本会独自の財源をもって生計困難者に対し、必要な資金の貸し付けを行い、自立更生の支援を行います。	■事業実施					寄付金
	→					
	実施	実施	実施	実施		
民生委員児童委員と連携し、適切な相談支援を行います。						
【生活福祉資金貸付事業】 生計困難者に対し、必要な資金の貸し付けを行い、自立更生の支援を行います。	■事業実施					県社協 受託料
	→					
	実施	実施	実施	実施		
民生委員児童委員と連携し、適切な相談支援を行います。						
【日常生活自立支援事業】 認知症・知的・精神障害等により、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用手続きが難しい方に、生活に必要な預貯金の出し入れや福祉サービスの利用援助などの支援を行います。	■利用実人数					県社協 受託料 市補助金
	15	16	16	17	17	
	13	14	13	8		
	生活支援員の資質向上を図り、適切な支援を行います。					
【高梁市生活あんしんサポートセンター事業】 経済的問題、健康問題、家庭問題等様々な問題を抱えている生活困窮者の相談に応じ、必要な支援を行います。	■自立相談支援事業の推進					市受託料
	→					
	実施	実施	実施	実施		
	相談者が抱える課題を把握し、他制度・他機関へのつながりを含めて自立に向けた計画を立て、継続的に支援を行います。					
	■家計改善支援事業の推進					
	→					
実施	実施	実施	実施			
相談者とともに入計の状況を確認し、生活の再生に向けた計画を立て、必要な情報提供や助言・指導等を行うことにより、相談者が自ら家計を管理できるよう支援を行います。						

事業名及び事業概要	年次計画（数値目標・方策）					主な財源
	R1	R2	R3	R4	R5	
【高梁市権利擁護センター事業】 認知症・知的・精神障害等により判断能力が不十分な方に対し、成年後見制度をはじめとした権利擁護支援を適切に結びつけるとともに、必要な支援を行います。	■利用実人数					市受託料
	—	—	80	85	90	
	—	—	76	83		
	■市民後見人登録者数					
	—	—	14	15	16	
	—	—	13	15		
成年後見制度の普及啓発や、制度に精通した専門職が関与し、早期段階から相談できる体制を整備します。 また、成年後見制度の担い手として、市民後見人の養成や情報交換会の開催、各種相談会等を実施し、継続的な支援を行います。						
【法人後見事業】 認知症・知的・精神障害等、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、本会が成年後見人等となり、財産管理及び身上監護を行います。	■受任件数					市補助金 報酬
	—	—	1	3	5	
	—	—	1	5		
	成年後見人等を受任し、権利擁護の推進に努めます。 また、関係機関と連携し、利用者に適した支援を行います。					

(4) 基本目標 4 地域福祉活動を支える体制づくり

事業名及び事業概要	年次計画 (数値目標・方策)					主な財源
	R1	R2	R3	R4	R5	
重点目標① 福祉に関する広報啓発活動の推進						
【企画広報事業】 本会が実施する事業の広報や社会福祉に関する情報を提供します。	■ 広報紙の発行					寄付金
	実施 実施 実施 実施 →					
	広報紙を年6回発行します。					
	■ 情報発信の充実強化					寄付金
	検討 検討 検討					
	検討 検討 完了 実施					
SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) を取り入れた。引き続き、ホームページの充実を図るとともに、迅速な情報提供に努めます。						
【福祉功労表彰】 地域社会福祉向上に顕著な功績があった個人・団体を表彰します。	■ 表彰					寄付金
	実施 実施 実施 実施 →					
	福祉・ボランティア活動等に功労のあった方々に対し、表彰状・感謝状を授与します。					
	社会福祉協議会の事業の周知を図り、理解と協力を促し、賛助会員数の増加を図ります。					
重点目標② 賛助会員制度の普及と会員加入の促進						
【賛助会員制度】 本会の目的に賛同する市民に対し賛助会員への加入を依頼し、相互扶助 (ささえあい・たすけあい) の意識の高揚を図るとともに、市民参加による地域福祉活動の維持充実に努めます。	■ 普通会員数					賛助会員 会費
	6,700 6,725 6,750 6,775 6,800					
	6,672 6,641 6,568 6,393					
	■ 法人会員数					
	275 280 285 290 295					
	298 303 315 292					

第2次地域福祉活動計画 評価委員会 [意見・提案]

- 江田委員 夏のボランティア体験事業について、災害時における「避難所」に焦点を当てたワークショップとはどのようなことを行ったのか。
- 加藤次長 段ボールを使ってベッドを作ったほか、避難所運営ゲームを行い災害時の避難所について理解を深めました。
- 江田委員 評価についてBが多めだが、順当なのか。
- 宮本局長 自己評価は甘くなりがちなので、内容によっては甘めな部分や、謙虚な部分もある。それぞれ伸びしろがあるのでBという評価を行っています。
- 江田睦雄 子育てサロンが1団体のみの申請ということだが、内容を教えてほしい。
- 横林課長補佐 川面を拠点に取り組まれている団体のみとなっています。親子で参加し体操や物づくり等で交流しているが、子ども達が大きくなり参加が出来なくなるなどの課題も抱えています。条件となる回数等は通常のふれあいサロンと変わりません。
- 山根委員 敬老祝い品贈呈事業の現状や課題の内容について詳しく教えてほしい。
- 加藤次長 昨年度の対象者は342人で贈呈率は70.2%です。記念品は肖像写真ですが、肖像写真を撮っていただける業者が川口写真館のみとなっています。福祉座談会等で、肖像写真を撮られなかった方に対しても何か贈呈できないのかというご意見をいただきことから、記念品目を増やすなど、事業内容を検討する必要があると考えています。
- 江田委員 特例貸付の返済状況について教えてほしい。
- 平野課長 返済は、今年の1月から始まったばかり。返済期間が2年あるいは、10年のものですので、現在の返済状況は分かりません。本市の貸付延べ数は、741件。実数にすると3百数十人で、返済免除の方が25%くらい出ています。現在貸付を受けられた全数の方の状況把握を行っています。あくまで、返済は、岡山県社会福祉協議会が対応し、本会は、生活状況を確認し、必要に応じ支援を行います。
- 丹治委員 法人会費について、協力を依頼すると「うちは法人じゃない」と言われる人がいる。法人をどのように解釈すればよいのか。
- 上森課長 実績のある方をお願いをしています。その上、有限会社、株式会社の方をお願いをしています。
- 堀 委員 法人登記をしている法人に法人会費をお願いしているのか。厳重に言えばそうだと思うが、外部からは判断がつかないと思う。例えば〇〇工業や〇〇組は法人登記をしていなくても法人として扱っているのか。
- 丹治委員 法人という言葉はどう扱っているのか。個人経営でも法人扱いになっている。そのあたりをきちんとしてほしい。中には法人ではないので協力しないという人もいる。

宮本局長 ご指摘ありがとうございます。以前からの経緯経過で商店等についても法人扱いでお願いをしています。今までの実績に応じ対応をさせていただいています。新規に立ち上げられたところについては、こちらからアプローチし、協力をお願いしています。

堀 委員 賛助会員会費のお願い文書が資料と一緒に届いた。すでに協力をしているのにどういうことなのか。市や社協の職員はそういうものなのかもしれないが、強制的にお願いするものなのか。

宮本局長 強制ではありません。福祉委員を通じてお願いをさせていただいていますので、経緯を調べさせていただきます。

丹治委員 川上では商工会を通じてお願いをしているが、法人という言葉に違和感がある。言葉を吟味し、お願いをしてほしい。

宮本局長 個人以外を法人扱いしているが、内部で検討しますのでよろしく申し上げます。